

## Solution Forum 2019

# エンジニアの「設計力アップ」を実現するフォーラム

# 第25回 EMC環境フォーラム

■開催日時／2019年11月8日(金) 9:30～16:00 開催地予定／サンシャインシティ文化会館 7階

## 技術セッション 9



EU加盟国のイギリスの離脱の話など状況が変わろうとしている中で、EU市場へ製品の出荷のためにCEマーキングの適用が要求されているが、新たな法的枠組み(NLF)に対して企業レベルで対応させていかないと条件を満たさない。

～新たな法的枠組み(NLF)の運用が始まり、新しい指令が発行され、それらの指令の注意点は理解するには～

[チェアパーソン] グローバル・テクノマネジメント研究所 平戸 昌利氏

**セッション要** CEマーキングが始まって四半世紀になるが、現在までの不備や修正などのために新たな法的枠組み(NLF)がスタートして大分時間が経っており、EMC指令、低電圧指令や無線指令などが変わり適用が始まっているが、またこれらの一つでも対応できていけば出荷ができている会社や担当者が多いが、出荷はできない。その背景と内容を説明する。

## □ 講演概要 □

### 第1講演 CEマーキングシステムの市場監視強化および新指令の運用と要求内容

グローバル・テクノマネジメント研究所 平戸 昌利氏

CEマーキングシステムが始まって25年以上になり、現在は市場監視強化の中で問題となった製品の市場回収が多くなっている。新たな法的枠組み(NLF)の適用が要求され、指令・規則・決定が出され、指令だけでは出荷できなくなっており、「今までと同じでよい！」という対応では出荷できないという事態となっている。

EMC指令、低電圧指令などだけでは出荷できないことは分かっているが、EU域内へ出荷させるには他に何をすればよいかわからない。

すでに取り組みされている企業の担当者、これから取り組む予定の企業、などの方への必要な情報として、CEマーキングシステムの追加・変更点について説明します。

#### [講演目次]

1. CEマーキングシステムの背景
2. 新法的枠組み(NLF)の目的
3. システムの構成・内容とその要求事項
4. 製品として最小限必要な要求指令の関係
5. 適合のための自己宣言(DoC)と技術文書(TD)
6. 製品の安全性を示すためのリスクアセスメントとは
7. CEマーキングシステムに関係する情報の入手方法と活用
8. 社内での取り組み方法について

受講者の方へ EMC指令だけでは出荷できないことを理解してもらい、CEマーキングシステムの構成の理解をしてもらう。

## □ 講演概要 □

### 第2講演 新たな法的枠組み(NLF)に伴い新指令で要求されている リスクアセスメントや技術文書(TD)への対応

グローバル・テクノマネジメント研究所 平戸 昌利 氏

新たな法的枠組み(NLF)の要求の中にリスクアセスメントの懸賞の表などの作成が要求されており、技術文書の中に反映させなければならないのだが、どのように行えばいいのかわからないという問い合わせが多く、そのために展開に支障をきたしているのが現状。  
要求規格に対応した内容を反映させたものとして、事例を挙げて伊説明する。

#### 【講演目次】

1. 各指令で要求されるリスクアセスメントのポイントと最終的に1つの文書としてまとめるポイント
2. NLFに関係する3文書に整合したリスクアセスメントの作成
3. リスクアセスメントリストを技術文書(TD)に反映させるポイントと自己宣言書(ToC)との関係
4. 適合閣員のための各指令の構成と組み合わせなど

**受講者の方へ** モノづくりに関係する産業機械に関しても、安全性を要求されており、同じく EMC だけでは出荷できないこと。どのようなものがあるかを理解してもらい、仕事に活かしてもらいたい。

### 第3講演 国際規格IEC82079-1に基づき 「事故を起こさない取扱説明書の書き方」

グローバル・テクノマネジメント研究所 平戸 昌利 氏

いま日本製品に添付させている取扱説明書がおかしいという指摘がされており、また各指令で要求する中に取扱説明書に反映させるべき項目があるが理解されていない。  
CE マーキングで要求されているリスクアセスメントとの関係からどのように取り組むかを国際規格 IEC82079-1 を考慮して理解し、事故を起こさない取扱説明書を作成してもらおう。

#### 【講演目次】

1. 取扱説明書の方的要求
2. 指令に基づく安全規格との関係
3. IEC82079-1によるリスク分析との関係
4. IEC82079-1による更生事例

**受講者の方へ** EMC 評価試験の時のマージンによるリスクアセスメントと散る扱い説明書との関係を理解してもらおう。

## 技術セッション / 受講料(テキスト代、昼食代を含みます) ■各技術セッション定員50名(総合セッションへ無料で参加)

\* 優待受講料の方は、①月刊EMCの読者、②早期申込みの方(2019年9月末まで)、③講師からのご紹介者、④前回フォーラムを受講された方となります。

**特典** 技術セッション受講者は無料で総合セッションを受講できますので申込書の□に✓をご記入下さい。

- 優待受講料 38,000円/名      ■ 総合セッション/3,000円/名 (技術セッションの受講者は無料です)
- 一般受講料 54,000円/名      ■ 技術交流会 /5,000円/名 (定員100名様)

## テキスト販売 / 各セッション10,000円(税込)

\* 本フォーラムにて使用されましたテキストを技術セッションごとに1冊単位で販売いたします。10,000円(税別) / 冊 (送料を含む)

## お申込み要領

※**注意** 技術セッションはサンシャイン文化会館 7F、総合セッションと技術交流会は 5Fにて開催予定となります。

※新しい人脈を築く「技術交流会」は定員100名様となりますので、申込順とさせていただきます。

**FAX申込書送付先** 029-877-1030 または <http://www.it-book.co.jp/EMC/forum/index.html>

### ■お問い合わせ

〒300-2622 茨城県つくば市要443-14 ソリューションフォーラム事務局 TEL.029-877-0022 E-mail:kagaku-gijyutsu@it-book.co.jp

きりとり線

## FAX申込書 [029-877-1030]

お申込日: 2019年  月  日

お申込みセッション		◎総合セッションを	
9 EU加盟国のイギリスの離脱の話など状況が変わろうとしている中で、EU市場へ製品の出荷のためにCEマーキングの適用が要求されているが、新たな法的枠組み(NLF)に対して企業レベルで対応させていかないと条件を満たさない。		■受講する ■受講しない	
お申込者(フリガナ)	勤務先	ご所属	
	様		
ご住所 <input style="width: 100px;" type="text"/> - <input style="width: 100px;" type="text"/>			
TEL( <input style="width: 50px;" type="text"/> )-( <input style="width: 50px;" type="text"/> )-( <input style="width: 50px;" type="text"/> )		E-mail	
*優待受講料の方は必ずご記入下さい		<input type="checkbox"/> 早期申込み <input type="checkbox"/> 前回受講者	
<input type="checkbox"/> 月刊EMC読者No( <input style="width: 100px;" type="text"/> )		<input type="checkbox"/> 講演者紹介(ご講演者氏名 <input style="width: 100px;" type="text"/> 様)	
		受講料	円
		技術交流会	円
		合計	円